

第35期(2023年度) 中部大学幸友会 総会・講演会・交流会

期日

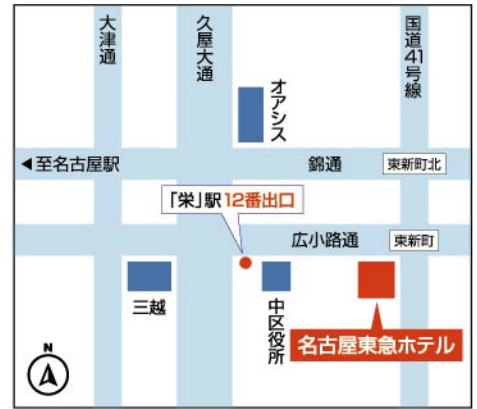
2023年 4/26 (水)

場所

名古屋東急ホテル3階

名古屋市中区栄4-6-8
TEL. 052-251-2411

ACCESS



◎地下鉄名城線・東山線「栄」駅12番出口より東へ徒歩5分

タイムスケジュール

15:00 ~	総 会	バロックの間	※受付は14:30より
15:50 ~	講 演 会	バロックの間	
17:00 ~	交 流 会 (産官学・就職交流会)	ルネッサンスの間	会費無料
18:30	終了予定		

※感染症に配慮し、2名様までを目安にお申し込みください。※交流会は立食による飲み物と軽食の提供を予定しておりますが、状況により変更となる場合があります。
※マスク着用について政府は個人の判断に委ねるとしてはいますが、多数の会員の皆様にご参加いただくため、着用をお奨めします。

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地 中部大学内 TEL.0568-514740 FAX.0568-511186
<https://www.chubu.ac.jp/business-industry/koyukai/> E-mail:koyukai@office.chubu.ac.jp

中部大学幸友会



Invitation

第35期(2023年度)

中部大学幸友会 総会・講演会・交流会

講演会演題

中部大学発の革新技術：

未来を拓く 高温超電導送電

*Look at
Horizon!*

SDGsとCNへの貢献を目指す
石狩での実験の成果と今後

講師



本島 修

Osamu Motojima

学校法人中部大学理事
中部大学学事顧問
石狩超電導・直流送電システム
技術研究組合 (I-SPOT) 理事長

講演概要

中部大学が中心となって進めている北海道石狩市でプロジェクトが進行する10万kW級の送電能力を持つ液体窒素冷却による石狩高温超電導直流送電システム(SCDC)は、経産省承認の石狩超電導・直流送電システム技術研究組合(I-SPOT)を実行組織として2013年に建設を始め、2017年に従来の交流送電システム(注：常温)と比べて送電損失を1/10まで低減化できることを実証するなどの成果を挙げて世界的にも高く評価されている。送電の高効率化による炭酸ガス排出量の大幅な削減に効果が大であるSCDCの社会実装によりSociety 5.0の実現をより現実のものとする事ができ、SDGsとCNを併せ持つ高度なエネルギー

社会の構築が可能となる。

2021年4月からはI-SPOTを中部大学が所掌して一層の活性化が図られており、現在もその社会実装を目指した低コスト化の検証、落雷・液体窒素喪失事故などに対する安全スタンダードの構築などを旨とした過酷試験と、1000kmを超える海外を含む長距離送電線網の構築やデータセンターと再生エネルギーソースとを接続するためのビジネスプランの策定など、海外との共同研究体制を構築しながら複数の活動を行っている。

その今後の発展の可能性についてもご紹介する予定である。

Profile

もとしま おさむ
本島 修

京都大学にて1971年に工学博士を取得後、京都大学ヘリオトロン核融合研究センター教授、名古屋大学プラズマ研究所教授、核融合科学研究所教授・所長、国際核融合エネルギー研究開発機構(ITER)機構長などを経て、帰国後の2015年より中部大学学事顧問、太平洋工業株式会社社外取締役役に就任、2019年からは学校法人中部大学理事を務める。また2021年より石狩・超電導直流送電技術組合の理事長に就任。加えて、未来エネルギー研究協会会長、スウェーデン王立科学工学アカデミー会員などを兼務。太陽と恒星の中心で宇宙開闢から長期間安定して起こりつづけ、人類の究極のエネルギー源と言われる核融合(フュージョン)エネルギーの開発研究に一貫して携わっており、プラズマ物理学、超電導工学、エネルギーと環境学などを専門とする。

【受賞・受章歴】 Alfvén Award・スウェーデン王立工科大学、文部科学大臣表彰・科学技術賞、フランス国レジオンドヌール勲章シュヴァリエなど

【主な著書】「Plasma Physics in Picture」, 「Dictionary for Plasma Physics and Related Engineering」 「Energy for Building the Future—Challenge to Nuclear Fusion Power Generation—」 「Fusion in Space and on Earth」 など